

## 平成26年度決算の状況

平成26年度決算については、一般会計及び各特別会計ともに黒字となりました。

また、平成19年度決算から公表が義務付けられた健全化判断比率は、実質公債費比率が12.4%、将来負担比率が87.0%となり、いずれも早期健全化の基準値(実質公債費比率25%以上、将来負担比率350%以上)内となり、前年度より数値も改善しました。

町の貯金ともいべき財政調整基金の年度末現在高は、前年度末より2億4,545万7千円減り、11億3,301万1千円となりました。

町全体の町債(借入金)の年度末残高は112億8,079万円となり、前年度末より6,627万8千円増えました。

用語解説	2～4
I 平成26年度西会津町歳入歳出決算総括表	5
II 一般会計	
1. 歳入決算額の状況	6～7
2. 歳出決算額の状況	8～9
3. 決算収支の状況	10
4. 財政指数の状況	10
5. 公債費比率等の状況	11
6. 健全化判断比率の状況	11～12
III 財産の状況	13
IV 町債(借入金)の年度末現在高と町の負担額	14

## 用語解説

### 会計の種類

- 一般会計** 町の基本的な行政運営を行うための経費。特別会計以外の経費を処理する。
- 特別会計** 特定の事業を行ったり、特定の収入で特定の支出を賄うために独立してつくられた会計。

### 1. 歳入

- 一般財源** 使いみちが決められていなくて、自由に使える収入。(町税、地方交付税など)
- 特定財源** 特定の事業に充てなければならない収入。(国・県支出金、町債、負担金など)
- 自主財源** 町が自らの手で徴収又は収納できる収入。(町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料など)
- 依存財源** 国や県から交付される収入。(地方交付税、国・県支出金など)
- 普通交付税** 全国どこの市町村に住んでいても一定水準の行政サービスが受けられるよう、国が一定の基準によりお金を交付するもの。
- 特別交付税** 普通交付税で交付されない市町村ごとの特徴的な事業や、実情により交付されるもの。本町では、除雪費、町民バス運行費、ケーブルテレビ運営費などの経費が交付されている。

### 2. 歳出

- 目的別決算額** 行政活動のどの分野にどれだけのお金を使用したかを表すもの。(総務費、民生費、農林水産業費、土木費など)
- 性質別決算額** 行政活動のどのような性質にお金を使用したかを表すもの。(人件費、扶助費、公債費など)「その他の経費」には、物件費、維持補修費、補助費等、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金などがある。
- 経常収支比率** 町税、普通交付税のように使いみちが特定されてなく、毎年度経常的に収入される財源(経常一般財源)のうち、人件費や扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に支出されたものが占める割合で、財政構造の弾力性を表す指標。この比率が高くなるほど財政構造が硬直化しており、経常的経費の抑制に努める必要がある。

### 3. 決算収支の状況

- 翌年度に繰越すべき財源** 町の会計は年度毎に決算を行うため、実施している事業が当該年度内に完了しなかった場合、翌年度において支出する金額。
- 実質収支** 歳入歳出差引額から、翌年度に繰越すべき財源を差し引いた純剰余金。
- 単年度収支** 当該年度の実質収支から、前年度の実質収支(前年度からの繰越金)を差し引いた金額で、町の当該年度のみの実質的な収入と支出の差額(前年度までの収支の累積を考慮しないもの)を表すもの。

**実質単年度収支** 単年度収支の中には財政調整基金への積立といった実質的黑字要素や財政調整基金からの取崩しといった実質的赤字要素が含まれているので、これらの要素を除いた場合の単年度の収支状況を表すもの。

**財政調整基金** 町の貯金。予算に不足が生じた場合は取崩しを行ない、余裕ができた場合に積立をする。

#### 4. 財政指数の状況

**財政力指数** 歳入の自主性・自立性を示す指標。標準的な行政を行うのに必要な経費（基準財政需要額）に自前の財源（基準財政収入額）でどれだけ対応できるかを表しており、過去3年間の平均値により算出する。この数値が「1」に近く、あるいは「1」を越えるほど財源に余裕があるといえる。

**実質収支比率** 決算収支の状況を表すもの。長期的な財政収支の均衡や健全性を保持していくには、実質収支を一定の黒字幅に保っていく必要があるが、一般的にはこの実質収支比率が3～5%の範囲にあるのが望ましいとされている。

**経常一般財源比率** 標準財政規模（※）に対する経常一般財源の割合。この数値が「100」を越える度合いが高いほど財源に余裕があり、歳入構造に余裕がある。  
※その町が標準的な状態で通常収入されるであろう一般財源の規模。

#### 5. 公債費比率等の状況

**公債費比率** 公債費の一般財源に占める割合。

**公債費負担比率** 公債費に充てられた一般財源の一般財源総額に対する割合。率が高いほど財政運営の硬直化の高まりを示し、15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされる。

**準公債費比率** 公債費比率に債務負担行為（※）に基づく当該年度支出額内の一般財源等で支出する金額を加算した、実質的な借入金の返済の負担状況を表す指標であり、特に公債費比率との乖離が大きい場合は注意が必要。  
※公債費以外で町が将来負担する金額。土地改良事業の償還金など。

**地方債年度末残高** 一般会計の各年度末（翌年3月31日現在）における借入金の金額。

#### 6. 健全化判断比率の状況

**健全化判断比率** 平成19年度決算より財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するものとして、次の4つの財政指標と資金不足比率により判定します。また、監査委員の審査に付した上で議会に報告し、公表しなければなりません。

**実質赤字比率** 一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す指標。

**連結実質赤字比率** すべての会計の赤字や黒字を合算し、全体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す指標。

実質公債費 比率	従来の起債制限比率に公営企業や一部事務組合等の元利償還金について普通会計が負担している額などを新たに算入したもので、町が実質に負担する借入金返済の状況を示す指標。(過去3ヵ年の平均値)
将来負担比 率	一般会計の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫するかどうかを示す指標。
資金不足比 率	公営企業が赤字決算となった場合に、料金収入に対して資金の不足額がどの程度あるのかを示す指標。

# I. 平成26年度西会津町歳入歳出決算総括表

(単位：千円)

No.	会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出差引額	
1	一 般 会 計	7,576,544	7,275,762	300,782	
2	工業団地造成事業特別会計	18	0	18	
3	商業団地造成事業特別会計	13,479	0	13,479	
4	住宅団地造成事業特別会計	7,835	2,633	5,202	
5	下水道施設事業特別会計	198,616	194,550	4,066	
6	農業集落排水処理事業特別会計	112,329	107,080	5,249	
7	個別排水処理事業特別会計	52,904	51,032	1,872	
8	後期高齢者医療特別会計	103,834	103,727	107	
9	国民健康保険 特別会計	事業勘定	974,001	925,500	48,501
		診療施設勘定	283,156	277,113	6,043
10	介護保険特別会計	1,108,513	1,068,577	39,936	
11	簡易水道等事業特別会計	90,838	88,338	2,500	
	計	10,522,067	10,094,312	427,755	

## Ⅱ. 一般会計

### 1. 歳入決算額の状況

(単位：千円・%)

区 分	平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
	決 算 額	増 減 率	決 算 額	増 減 率	決 算 額	増 減 率
歳 入	6,979,430	4.3	6,863,712	△ 1.7	7,576,544	10.4

(単位：千円・%)

区 分	平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
1. 町 税	605,105	8.7	607,599	8.9	609,559	8.1
2. 地 方 譲 与 税	92,329	1.3	87,624	1.3	84,207	1.1
3. 利 子 割 交 付 金	1,021	0.0	1,053	0.0	978	0.0
4. 配 当 割 交 付 金	594	0.0	1,381	0.0	2,713	0.0
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	137	0.0	1,867	0.0	1,428	0.0
6. 地 方 消 費 税 交 付 金	60,716	0.9	60,199	0.9	74,450	1.0
7. 自 動 車 取 得 税 交 付 金	25,687	0.4	23,990	0.3	11,319	0.2
8. 地 方 特 例 交 付 金	1,102	0.0	825	0.0	668	0.0
9. 地 方 交 付 税	3,043,129	43.6	3,023,322	44.0	3,064,105	40.5
10. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,034	0.0	995	0.0	868	0.0
11. 分 担 金 及 び 負 担 金	31,441	0.5	23,364	0.3	23,644	0.3
12. 使 用 料 及 び 手 数 料	146,616	2.1	150,647	2.2	151,166	2.0
13. 国 庫 支 出 金	429,999	6.2	780,588	11.4	946,241	12.5
14. 県 支 出 金	1,127,861	16.2	573,969	8.4	643,925	8.5
15. 財 産 収 入	13,766	0.2	10,307	0.2	24,324	0.3
16. 寄 附 金	2,652	0.0	21,042	0.3	1,416	0.0
17. 繰 入 金	329,558	4.7	446,838	6.5	773,717	10.2
18. 繰 越 金	197,262	2.8	190,035	2.8	181,252	2.4
19. 諸 収 入	65,621	0.9	51,067	0.7	85,864	1.1
20. 町 債	803,800	11.5	807,000	11.8	894,700	11.8
合 計	6,979,430	100.0	6,863,712	100.0	7,576,544	100.0

## 〔財源構成の状況〕

(単位：千円・%)

区 分	平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
一 般 財 源	4,592,568	65.8	4,622,799	67.4	4,937,596	65.2
特 定 財 源	2,386,862	34.2	2,240,913	32.6	2,638,948	34.8
合 計	6,979,430	100.0	6,863,712	100.0	7,576,544	100.0
自 主 財 源	1,392,021	19.9	1,500,899	21.9	1,850,942	24.4
依 存 財 源	5,587,409	80.1	5,362,813	78.1	5,725,602	75.6

## 〔地方交付税の推移〕

(単位：千円・%)

区 分	平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
	決 算 額	増 減 率	決 算 額	増 減 率	決 算 額	増 減 率
普 通 地 方 交 付 税	2,620,342	0.8	2,594,085	△ 1.0	2,555,977	△ 1.5
特 別 地 方 交 付 税	422,787	△ 0.6	429,237	1.5	508,128	18.4
合 計	3,043,129	0.6	3,023,322	△ 0.7	3,064,105	1.3
(歳入総額に占める割合)	43.6	-	44.0	-	40.5	-

## 2. 歳出決算額の状況

(単位：千円・%)

区 分	平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
	決 算 額	増 減 率	決 算 額	増 減 率	決 算 額	増 減 率
歳 出	6,789,395	4.6	6,682,460	△ 1.6	7,275,762	8.9

## 〔目的別決算額〕

(単位：千円・%)

区 分	平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
1. 議 会 費	91,091	1.4	81,963	1.2	87,889	1.2
2. 総 務 費	1,674,576	24.7	1,716,396	25.7	1,717,739	23.6
3. 民 生 費	1,452,726	21.4	1,054,162	15.8	1,158,173	15.9
4. 衛 生 費	442,306	6.5	408,617	6.1	432,768	5.9
5. 労 働 費	61,777	0.9	63,077	1.0	51,861	0.7
6. 農 林 水 産 業 費	359,234	5.3	385,535	5.8	431,447	5.9
7. 商 工 費	80,540	1.2	94,134	1.4	99,465	1.4
8. 土 木 費	802,600	11.8	822,654	12.3	810,862	11.2
9. 消 防 費	239,219	3.5	261,768	3.9	174,726	2.4
10. 教 育 費	577,267	8.5	916,835	13.7	1,546,950	21.3
11. 災 害 復 旧 費	212,078	3.1	14,199	0.2	37,165	0.5
12. 公 債 費	795,981	11.7	863,120	12.9	726,717	10.0
合 計	6,789,395	100.0	6,682,460	100.0	7,275,762	100.0



## 〔性質別決算額〕

(単位：千円・%)

区 分		平成 2 4 年 度		平成 2 5 年 度		平成 2 6 年 度	
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比
義務的経費	人 件 費	911,310	13.4	874,620	13.1	920,616	12.6
	扶 助 費	879,785	13.0	404,774	6.1	435,748	6.0
	公 債 費	795,981	11.7	863,120	12.9	726,717	10.0
	小 計	2,587,076	38.1	2,142,514	32.1	2,083,081	28.6
投資的経費	普通建設費	1,099,673	16.2	1,508,576	22.6	2,082,343	28.6
	災害復旧費	212,078	3.1	14,199	0.2	37,165	0.5
	小 計	1,311,751	19.3	1,522,775	22.8	2,119,508	29.1
その他の経費		2,890,568	42.6	3,017,171	45.1	3,073,173	42.3
合 計		6,789,395	100.0	6,682,460	100.0	7,275,762	100.0

## 〔経常収支比率〕

(単位：%)

区 分	平成 2 4 年 度	平成 2 5 年 度	平成 2 6 年 度
人 件 費	24.1	23.1	24.4
物 件 費	11.9	12.4	12.6
維持補修費	2.3	1.8	1.1
扶 助 費	3.8	4.7	4.6
補助費等	8.1	8.3	7.9
公 債 費	21.2	19.8	20.0
繰 出 金	13.1	12.9	13.6
合 計	84.5	83.0	84.2

3. 決算収支の状況

(単位：千円)

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
歳入総額	A	6,979,430	6,863,712	7,576,544
歳出総額	B	6,789,395	6,682,460	7,275,762
歳入歳出差引額	C(A-B)	190,035	181,252	300,782
翌年度に繰り越すべき財源	D	56,292	30,894	109,376
実質収支	E(C-D)	133,743	150,358	191,406
単年度収支	F(E-前年度E)	△26,808	16,615	41,048
財政調整基金積立金	G	485,827	562,862	404,386
繰上償還金	H	1,139	130,162	0
財政調整基金取崩額	I	272,469	370,000	649,843
実質単年度収支	F+G+H-I	187,689	339,639	△204,409

4. 財政指数の状況

(単位：%)

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
財政力指数	$\left(\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}\right)$	0.194	0.194	0.199
実質収支比率	$\left(\frac{\text{実質収支}}{\text{標準財政規模}}\right)$	3.7	4.2	5.4
経常一般財源比率	$\left(\frac{\text{経常一般財源収入額}}{\text{標準財政規模}}\right)$	94.5	94.8	94.5
経常収支比率	$\left(\frac{\text{経常経費充当一般財源}}{\text{経常一般財源}}\right)$	84.5	83.0	84.2

※財政力指数は単年度の数値

5. 公債費比率等の状況

(単位：千円・%)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
公 債 費 比 率	7.9	6.7	5.5
公 債 費 負 担 比 率	16.7	17.8	14.3
準 公 債 費 比 率	8.3	7.1	5.7
地 方 債 年 度 末 現 在 高	6,896,510	6,924,675	7,167,967
地 方 債 償 還 額 に 占 め る 普 通 交 付 税 算 入 率	68.3%	71.1%	77.1%
普 通 交 付 税 算 入 額	4,710,316	4,923,444	5,526,503
実 質 一 般 財 源 負 担 額 ( 負 担 率 )	2,186,194 (31.7%)	2,001,231 (28.9%)	1,641,464 (22.9%)
債 務 負 担 行 為 翌 年 度 以 降 支 出 予 定 額	99,249	1,013,629	32,334
(うち公債費に準じるもの)	(26,665)	(34)	(28)

6. 健全化判断比率の状況

(単位：%)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実 質 赤 字 比 率 (15.00)	—	—	—
連 結 実 質 赤 字 比 率 (20.00)	—	—	—
実 質 公 債 費 比 率 (25.0)	14.4	13.7	12.4
将 来 負 担 比 率 (350.0)	106.3	90.7	87.0
資 金 不 足 比 率 (20.0)	—	—	—

( ) は、早期健全化基準値

## 「地方公共団体財政健全化法」における新たな健全化判断比率等

(単位：%)

項目	解 説	警 戒 ラ イ ン 基 準		平成26年度 西会津町
		早期健全化① (経営健全化)	財政再生②	
実質赤字比率	一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す指標。	15%以上	20%以上	—
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字や黒字を合算し、全体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す指標。	20%以上	30%以上	—
実質公債費比率	従来の起債制限比率に公営企業や一部事務組合等の元利償還金について普通会計が負担している額などを新たに算入したもので、町が実質に負担する借入金返済の状況を示す指標。(過去3ヵ年の平均値)	25%以上	35%以上	12.4%
将来負担比率	一般会計の借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担等の残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫するかどうかを示す指標。	350%以上		87.0%
(資金不足比率)	公営企業が赤字決算となった場合に、料金収入に対して資金の不足額がどの程度あるのかを示す指標。	20%以上		—

### 【警戒ライン基準】

- ①早期健全化対象団体：自主的な改善努力による財政健全化の徹底（財政健全化計画策定）  
資金不足比率が基準値以上となった場合は経営健全化計画を策定）
- ②財政再生団体：国等の関与による確実な再生（財政再生計画策定）

### Ⅲ. 財産の状況

〔土地・建物〕

(単位：㎡)

区 分	土 地 ( 地 積 )			建 物 ( 延 床 面 積 )			
	前年度末	年度中増減	今年度末	前年度末	年度中増減	今年度末	
本 庁 舎	5,003	0	5,003	2,850	0	2,850	
その他の 行政機関	警察(消防)施設	1,273	0	1,273	2,508	0	2,508
	その他の施設	0	0	0	23	0	23
公 共 用 財 産	学 校	94,228	0	94,228	13,073	4,721	17,794
	公 営 住 宅	17,264	99	17,363	8,202	0	8,202
	公 園	95,732	0	95,732	3,654	0	3,654
	その他の施設	324,606	△ 158	324,448	78,359	1,771	80,130
山 林	345,174	0	345,174				
原 野 其 他	64,300	△ 290	64,010				
合 計	947,580	△ 349	947,231	108,669	6,492	115,161	

〔基金〕

基 金 名	区 分 (単位)	前年度末現在高	年度中増減高	今年度末現在高
財 政 調 整 基 金	現 金 (千円)	1,378,468	△ 245,457	1,133,011
減 債 基 金	現 金 (千円)	519	0	519
庁 舎 整 備 基 金	現 金 (千円)	155,208	300,110	455,318
ふるさと振興基金	現 金 (千円)	10,718	0	10,718
生きがい福祉基金	現 金 (千円)	10,873	△ 400	10,473
小中学校交流基金	現 金 (千円)	21,933	△ 2,210	19,723
土 地 開 発 基 金	土 地 (㎡)	17,994	△ 1,736	16,258
	出資証券 (千円)	1,940	0	1,940
	現 金 (千円)	22,107	△ 4,160	17,947
	債 務 (千円)	12,006	△ 12,006	0
生活援助貸付基金	現 金 (千円)	10,042	6	10,048
肉用牛特別導入事業基金	現 金 (千円)	2,288	△ 1,199	1,089
	牛 (頭)	8	2	10
高額療養費支払資金貸付基金	現 金 (千円)	4,000	0	4,000
国民健康保険給付費支払準備基金	現 金 (千円)	117,109	△ 17,983	99,126
介護給付費準備基金	現 金 (千円)	27,797	△ 17,354	10,443
下水道排水設備工事費貸付基金	現 金 (千円)	12,715	8	12,723
東日本大震災復興基金	現 金 (千円)	81,283	△ 36,156	45,127
介護保険財政安定化特例基金	現 金 (千円)	2,001	△ 2,001	0
新田正夫教育振興基金	現 金 (千円)	18,926	△ 1,299	17,627
地域の元気臨時交付金事業基金	現 金 (千円)	83,038	△ 83,038	0

#### IV. 町債(借入金)の年度末現在高と町の負担額

(単位:千円)

区 分	平成20年度 末現在高	平成21年度 末現在高	平成22年度 末現在高	平成23年度 末現在高	平成24年度 末現在高	平成25年度 末現在高	平成26年度 末現在高
一 般 会 計 ①	6,843,880	6,789,270	6,735,170	6,797,386	6,896,510	6,924,675	7,167,967
1 下 水 道 事 業 特 別 会 計	1,493,018	1,426,647	1,397,482	1,380,542	1,354,120	1,324,085	1,286,282
2 農 業 集 落 排 水 処 理 事 業 特 別 会 計	1,152,782	1,185,454	1,148,618	1,108,465	1,064,361	1,015,869	963,082
3 個 別 排 水 処 理 事 業 特 別 会 計	75,679	86,295	92,744	108,516	115,345	122,909	129,944
4 国 民 健 康 保 険 特 別 会 計 〔 診 療 施 設 勘 定 〕	132,424	149,788	162,056	167,259	173,050	205,006	217,454
5 簡 易 水 道 等 事 業 特 別 会 計	486,099	439,297	399,972	360,054	318,537	293,860	269,762
特別会計合計(1～6の計)②	3,340,002	3,287,481	3,200,872	3,124,836	3,025,413	2,961,729	2,866,524
水 道 事 業 会 計 ③	1,596,071	1,532,643	1,462,883	1,396,836	1,328,932	1,328,108	1,246,299
合 計 ( ① + ② + ③ )	11,779,953	11,609,394	11,398,925	11,319,058	11,250,855	11,214,512	11,280,790

平成20年度末を100とした場合の  
各年度末残高割合

(単位:千円・%)

一 般 会 計	100.0	99.2	98.4	99.3	100.8	101.2	104.7
合 計	100.0	98.6	96.8	96.1	95.5	95.2	95.8
合計のうち、地方交付税で交付が 見込まれる額	(55.9%) 6,584,994	(55.8%) 6,478,042	(55.1%) 6,280,808	(55.3%) 6,259,439	(56.5%) 6,356,733	(58.2%) 6,526,846	(62.1%) 7,005,371
町の実質負担額 ※	(44.1%) 5,194,959	(44.2%) 5,131,352	(44.9%) 5,118,117	(44.7%) 5,059,619	(43.5%) 4,894,122	(41.8%) 4,687,666	(37.9%) 4,275,419

※返済金の一部が地方交付税で交付されることから、町の実質負担額は概ね35～45%となります。